

基本事業名		事業指標名	指標 主管課	H26取組内容	H23現状値	(参考) H25実績値	H26実績値	H29目標値	H26評価	今後の方向性	備考
1-1-	(1) 水道水の水質管理の充実	水道GLPの認定	水道管理課	水道GLPのサーベイランス（中間審査）において、水道GLP事務局より指摘を受けた事項の改善に取り組むなど、検査の信頼性や分析精度の向上に努めました。	認定	認定	認定	認定継続	A：順調	水道GLPの規定を遵守しながら、より高精度で信頼性の高い水質検査を実施していくことで、水道GLPの認定を継続していきます。引き続き「水安全計画」を着実に運用するなど、水質検査の充実に努めていきます。	
1-1-	(2) おいしい水づくりの推進	高度浄水処理技術の導入箇所	水道管理課	引き続き、高度浄水処理技術の導入に向け、将来的に懸念される原水水質変化などのリスクに対して最適な処理方式の調査、研究を行いました。	0か所	0か所	0か所	1か所	C：進展あり	水源水質の状況を監視しながら、高度浄水処理技術の導入時期などを検討していきます。	
1-1-	(3) 新鮮でおいしい水の供給の推進	小規模貯水槽水道の指導率	工事受付センター	「貯水槽水道適正管理推進計画」に基づき、平成26年度の調査対象物件750件について、小規模貯水槽水道の現地検査及び啓発活動を行い、適正管理について指導を行いました。	29.5%	—	18%	80.0%	C：進展あり	引き続き、小規模貯水槽水道の現地検査や設置者等への助言・指導の強化、適正管理推進の啓発活動を推進していきます。また、広報紙等を活用して、直結給水方式への切替促進について啓発していきます。	
1-2-	(1) 水源の保全対策	監視魚自動監視装置導入箇所数	水道建設課	「危機管理に係る水道施設整備計画」に基づき、「松田新田浄水場監視魚自動監視装置設置工事」を実施しました。	1か所	1か所	1か所	3か所	A：順調	平成27年度に、高間木取水場への監視魚自動監視装置の設置工事を実施します。	
1-2-	(2) 水道施設等の整備	配水管理システム整備率（計画進捗率）	水道建設課	「配水管理システム整備計画」に基づき、中央コントロール遠方監視制御装置整備工事を実施したほか、陽東流量制御所の新設工事や城南制御所の更新工事を実施しました。	—	62.8%	83.3%	100%	A：順調	「配水管理システム整備計画」に基づき、制御所の更新工事を計画的に進めていきます。	
1-3-	(1) 水道施設等の適正な管理	漏水調査実施率（年間）	水道管理課	「第2次上下水道有収率向上計画」に基づき、平成26年度に予定した延長750kmの漏水調査を実施しました。	100%	100%	100%	100%	A：順調	今後は、より効果的な漏水防止対策を推進することにより、有収率向上に努めていきます。	
1-3-	(2) 水道施設等の計画的な改築・更新	①松田新田浄水場施設更新工事進捗率（計画進捗率）	水道建設課	「松田新田浄水場第2期施設更新計画」に基づき、高間木取水場の遠方監視設備更新工事を実施したほか、松田新田浄水場の排水処理機（機械・電気）更新工事を実施しました。	—	21.7%	57.1%	100%	A：順調	「松田新田浄水場第2期施設更新計画」に基づき、老朽化した各種設備の更新を計画的に進めていきます。	
		②老朽配水管布設替整備延長	水道建設課	「老朽配水管布設替計画」に基づき、約4,130mの老朽配水管の布設工事を実施しました。	約25km	約28.6km	約32.7km	約35km	A：順調	「老朽配水管布設替計画」に基づき、計画的に布設替を進めていきます。	
2-1-	(1) 汚水管渠の整備	公共下水道整備面積	下水道建設課	河内・上河内地区や区画整理地内（鶴田第2、宇大東南部第1・第2、岡本駅西）などにおける汚水管渠の整備を実施しました。	9,236ha	9,302ha	9,322ha	9,707ha	B：概ね順調	今後10年を目途に生活排水処理の整備を目指す「下水道アクションプラン」を策定し、計画的に整備を進めていきます。	

基本事業名		事業指標名	指標 主管課	H26取組内容	H23現状値	(参考) H25実績値	H26実績値	H29目標値	H26評価	今後の方向性	備考
2-1-	(2) 水再生センター・中継ポンプ場の整備	河内水再生センターの水処理施設整備	下水道管理課	河内水再生センターの「水処理4系列増設工事実施設計」の実施にむけて準備を進めるとともに、大塚中継ポンプ場等の整備を実施しました。	3系列	3系列	3系列	4系列	C：進展あり	「水処理4系列増設工事実施設計」を進めるとともに、大塚中継ポンプ場等の整備を計画的に実施していきます。	
2-1-	(3) 合流式下水道の機能改善	貯留施設設置数	下水道建設課	※平成25年度完了	4か所	12か所	12か所	12か所	F：完了	今後は、合流改善目標の達成状況を確認するため、事後評価を実施し、結果を国へ報告し、市のホームページで公表していきます。	
2-1-	(4) 公共用水域の水質向上	放流水質基準適合率	下水道管理課	下水道の水質管理の充実を図り、適正に各水再生センターの維持管理業務を実施することで、基準に適合する放流水質を実現しました。また、「下水道水質管理基本計画」に基づき、計画的に特定事業場等の立入検査を実施しました。	100%	100%	100%	100%	A：順調	各水再生センターの適正な維持管理により、放流水質の基準適合を維持していくほか、特定事業場等への計画的な立入検査を実施していきます。	
2-2-	(1) 雨水幹線等の整備	雨水幹線整備延長（累計）	下水道建設課	「公共下水道雨水整備計画改定計画」に基づき、新川第9排水区、中丸川排水区は地質調査・実施設計を実施し、鶴田川第5排水区、平出工業団地関連排水区は基本設計を実施しました。	15,150m	15,160m	—	16,150m	C：進展あり	「公共下水道雨水整備計画改定計画」に基づき、雨水幹線の整備について、計画的に整備を進めていきます。	
2-2-	(2) 宅地内雨水貯留・浸透施設設置の促進	雨水貯留施設等設置費補助基数	工事受付センター	宅地内雨水貯留・浸透施設に係る設置費補助を実施したほか、広報紙やHPによる啓発、地区市民センターやイベントにおける実物展示、自治会における説明会の実施、住宅展示場やホームセンターにおけるパンフレット設置など、積極的な広報活動を実施しました。	181基	178基	133基	1,000基 (年平均200基)	B：概ね順調	更なる広報活動の充実を図るとともに、設置したお客様のご意見を活かした新しい取組を検討し、設置基数の増加を目指していきます。	
2-3-	(1) 下水道施設等の適正な管理	老朽管渠修繕箇所数（累計）	下水道管理課	「公共下水道老朽管渠修繕計画」に基づき、ひび割れなどの異常箇所について、計画的に修繕工事を実施しました。	13か所	68か所	21か所	102か所	A：順調	「公共下水道老朽管渠修繕計画」に基づき、計画的に修繕工事を実施し、平成28年度に計画完了を目指します。現在の計画完了後は、田川第2処理区に係る計画を策定し、計画に基づき修繕工事を実施していきます。	
2-3-	(2) 下水道施設等の計画的な改築・更新	①川田水再生センター水処理施設改築工事進捗率	下水道管理課	「下水道長寿命化計画」に基づき、川田水再生センター水処理施設の改築に向けた実施設計の精査を行いました。	—	0%	4%	100%	C：進展あり	「下水道長寿命化計画」に基づき、計画的に川田水再生センターの改築工事を進めていきます。	
		②老朽管渠更新延長（累計）	下水道建設課	「下水道長寿命化計画」に基づき、550mの老朽管渠更新工事を実施しました。	670m	990m	1,545m	3,130m	B：概ね順調	「下水道長寿命化計画」に基づき、計画的に老朽管渠の更新を進めていきます。	

基本事業名		事業指標名	指標 主管課	H26取組内容	H23現状値	(参考) H25実績値	H26実績値	H29目標値	H26評価	今後の方向性	備考
3-1-	(1) 緊急時対応の強化	応急給水実地訓練職員参加率	企業 総務課	応急給水訓練を実施したほか、局の緊急時対応訓練や市防災訓練においても、災害発生時を想定した実践的な応急給水訓練を実施しました。	24.9%	25.0%	25.6%	25.0%	A：順調	今後も訓練を継続し、多くの職員が応急給水に関する各種操作手順を習得することを目指すなど、一層の緊急時対応体制の充実を図っていきます。	
3-2-	(1) 耐震化の取組強化	①上下水道施設の耐震化 工事取組件数	水道 建設課 下水道 管理課	「上下水道施設耐震化基本計画」などに基づき、水道事業については、関係課と調整を図り、工事实施に向け準備を進めました。 また、下水道事業については、川田水再生センターの耐震化の方向性に関する検討を進めました。	0件	1件	1件	2件	A：順調	「上下水道施設耐震化基本計画」に基づき、水道事業については、平成27年に松田新田浄水場中央管理棟の耐震化工事を実施する予定です。 下水道事業においては、川田水再生センター、下河原水再生センターのあり方の検討に合わせて、今後の耐震化の方針を検討していきます。	
		②水道基幹管路の耐震適合率	水道 建設課	耐震化と合わせた水道基幹管路の布設替を進めており、約405mの整備を実施しました。	47.4%	48.9%	52.7%	50.0%	A：順調	白沢浄水場送水管の布設替を実施していくほか、「第1期水道施設耐震化計画」に基づき、計画的に耐震化を推進していきます。	
3-2-	(2) 施設の警備体制の強化	水道施設における危機管理設備整備件数	水道 建設課	「危機管理に係る水道施設整備計画」に基づき、防護設備や監視警戒設備の整備を実施しました。	—	5件	8件	16件	A：順調	「危機管理に係る水道施設整備計画」に基づき、計画的に監視警戒設備の整備を進めていきます。	
4-1-	(1) 省エネルギー対策の推進	IS014001の市環境マネジメントシステム適合状況	企業 総務課	市環境マネジメントシステムに基づき、節電やゴミ分別の徹底など、環境配慮行動を推進しました。	適合	適合	適合	適合	A：順調	引き続き、市環境マネジメントシステムに適合するよう、環境配慮行動を徹底していきます。	
4-1-	(2) 再生可能エネルギーの有効活用	太陽光発電・小水力発電設備設置箇所	企業 総務課	第2回太陽光発電向け市有財産貸付事業の公募実施及び発電事業の具体化に向けた取組を実施しました。	4か所	4か所	4か所	増設	A：順調	第2回太陽光発電向け市有財産貸付事業において決定した貸付事業者による発電（予定）が可能となったことから、引き続き、所管課等と連携を図りながら、当該事業を通じて、より一層の環境負荷低減を推進していきます。	
4-1-	(3) 上下水道資源の有効活用	汚泥消化ガスの有効活用率	下水道 管理課	川田水再生センターにおいて、消化ガス発電施設建設に係る設計と一部の工事を実施しました。	70%	—	69%	70%超	C：進展あり	平成28年度からの川田水再生センターの汚泥消化ガス発電稼働及び発電電力の売電を目標に、工事を進めていきます。	
5-1-	(1) お客様サービスの充実	広報紙閲読率	経営 企画課	年4回の広報紙発行を中心に、ホームページやイベントへの出展などを通じて、お客様への情報提供を実施しました。	64.8%	—	50.5%	70.0%	C：進展あり	広報紙については、局オリジナルキャラクター「水道ぼうや」を多く活用するなど、よりわかりやすい紙面づくりに努めていきます。また、水道100周年・下水道50周年記念事業とも合わせて、効果的な広報広聴活動に取り組んでいきます。	

基本事業名		事業指標名	指標 主管課	H26取組内容	H23現状値	(参考) H25実績値	H26実績値	H29目標値	H26評価	今後の方向性	備考
6-1- (1)	財政基盤の強化	①収納率（水道料金）	サービスセンター	収納率の維持向上に向けて、継続的な訪問、電話催告を実施するとともに、特に市内転居休止分の未納者対策を強化したほか、何度催告してもなお未納である者に対しては、厳正な給水停止や支払督促（水道）、積極的な財産調査を実施した上での差押（下水道）などの滞納処分を実施しました。	97.88%	97.90%	98.01%	現行水準の維持	A：順調	「第2次水道料金等の収納率向上計画」の基本方針に基づく具体的施策を着実に実施することで、引き続き高水準である収納率の維持、確保を図っていきます。	
		①収納率（下水道使用料）	サービスセンター		97.04%	96.95%	97.31%	現行水準の維持	A：順調		
		②経常収支比率（水道）	経営企画課	国庫補助金の確保や建設コストの縮減に努め、良好な収支の確保に努めました。	122.3%	119.7%	127.8%	100%以上	A：順調		引き続き、特定財源の確保や建設コストの縮減に努めるほか、未利用地の処分や汚泥消化ガス発電事業による収入確保など、上下水道施設の資源を効果的に活用し、一層の経営の健全性確保に取り組んでいきます。
		②経常収支比率（下水道）	経営企画課		108.0%	109.8%	112.3%	100%以上	A：順調		
6-1- (2)	人材育成の強化	職員の年間研修参加回数	企業総務課	「上下水道局研修計画」に基づき、局職員全体を対象とした集合研修、研修機関等への派遣研修などを実施し、局職員の能力向上を図るとともに、研修に参加しやすい職場風土の醸成に努めました。	3.5回	4.1回	集計中	3.5回	A：順調	引き続き、研修機会の確保と内容の充実に努め、職員の能力向上を図るとともに、本局を取り巻く社会環境の変化やこれまでの人材育成の取組の評価を踏まえ、「局人材育成方針」の改定を進めていきます。	
6-2- (1)	民間的経営手法の活用	会計基準見直しへの対応	経営企画課	新たな会計基準を適用した平成26年度予算について、必要となる固定資産の取扱いの見直しや引当金計上の考え方の整理などの作業を行いました。また、財務会計システムの改修等を実施しました。	検討	一部対応	対応済	対応済	F：完了	新たな会計基準が適用された財務諸表に基づき、経営状況をより適切に把握するための、経営分析手法を検討していきます。	
6-2- (2)	計画的・効率的な事業の推進	水道事業アセットマネジメントの実施	水道管理課	水道事業においては、「水道事業アセットマネジメント推進基本計画」を策定し、実践の枠組みや基本的事項を定めました。	試行実施	基本方針策定	基本計画策定	本格実施	A：順調	水道事業において、平成29年度本格実施に向けて点検診断計画を策定し、水道施設の状態を適正に管理するとともに財政収支との整合性を図りながら、計画的に更新等をしていきます。	